

プラグ、コイルを全数交換で売上UP!

シリンダー間の二次電圧のバランスをチェック!

イグニッションアナライザーTA500Jは、ダイレクトコイルの上部にかざすだけで、「ピーク電圧」、「スパークタイム」、「エンジン回転数」を表示します。どのシリンダーが不具合なのか、きちんとバランスが取れているのか、一目瞭然!

不具合が発生している時はもちろん、定期点検などの入庫時にも、シリンダー間のバランスをチェックし、本格的なトラブルが起きる前に予防整備ができます!

また不具合シリンダーだけの修理では、半数以上の車両が再修理で入庫しています。^{*1}すべてのプラグ、コイルを替えることで車両の調子もよくなり、売上もアップ、トラブルが減少し、顧客満足度もアップ!^{*2}※当社調べ

全入庫車両を
チェックし
予防整備

不具合
シリンダー
確認

○ プラグ・コイル
全数交換

売り上げ・
顧客満足度 UP!

✕ 不具合シリンダー
のみ修理

再修理の可能性大

動画を
チェック!



TA500J
イグニッション
アナライザー



予防整備

全入庫車両をチェック、
未然にトラブルを防止!

プラグ、コイル
全数交換で

売上アップ!
トラブル減少!
顧客満足度アップ!

バラツキが診れる!

どのシリンダーが
不具合なのか、
きちんとバランスが
取れているのか

劣化具合が一目瞭然!

各シリンダーの
計測値を比較して診断!

プラグ、コイルを全数交換する！

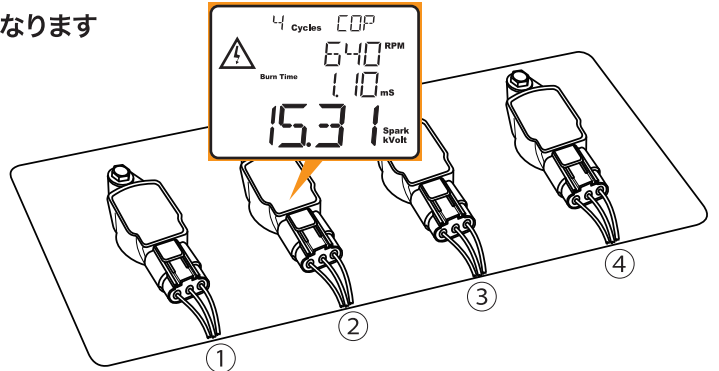
①アイドリング不調

アイドリング時にエンジンが震えるが、チェックランプは点灯していない。
 パワーバランステストの代わりにイグニッションアナライザーTA500Jで、すばやく不具合シリンダーを特定していきます。

②測定 ※ピーク電圧は他のシリンダーと比較した数値になります

バランスが大事！

	ピーク電圧	スパークタイム
1番シリンダー	10~12kv	1.40ms
2番シリンダー	14~16kv	1.10ms
3番シリンダー	10~12kv	1.40ms
4番シリンダー	10~12kv	1.40ms



2番シリンダーのピーク電圧が高く、スパークタイムが短くなっています。

③劣化プラグ、コイル交換

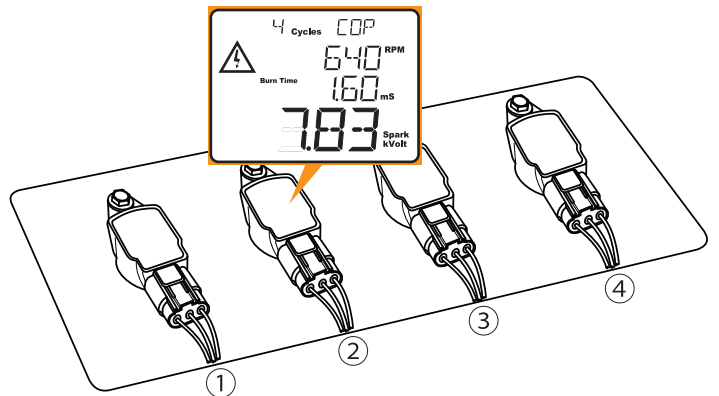
2番シリンダーのピーク電圧が他のシリンダーよりかなり高くなっています。
 通常であれば2番のプラグまたはコイルだけを交換して終了ですが・・・。

④再測定

2番シリンダーのプラグ、コイルを新品に交換して再度測定。

バランスが大事！

	ピーク電圧	スパークタイム
1番シリンダー	10~12kv	1.40ms
2番シリンダー	9~11kv	1.60ms
3番シリンダー	10~12kv	1.40ms
4番シリンダー	10~12kv	1.40ms

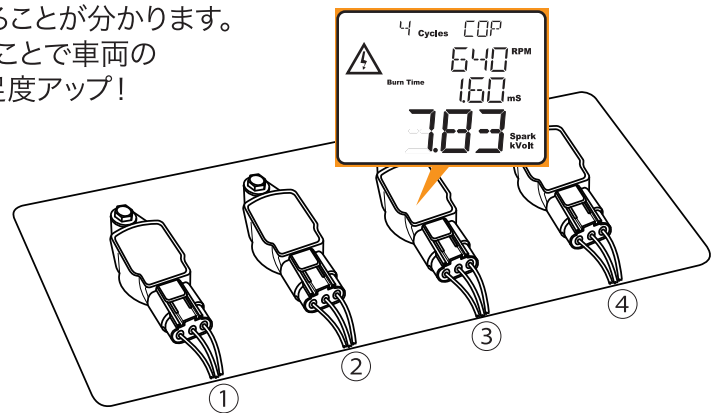


⑤全交換

2番と比べると他も劣化していることが分かります。
 すべてのプラグ、コイルを替えることで車両の調子が良くなり、売上・顧客満足度アップ！

バランスが整いました！

	ピーク電圧	スパークタイム
1番シリンダー	9~11kv	1.60ms
2番シリンダー	9~11kv	1.60ms
3番シリンダー	9~11kv	1.60ms
4番シリンダー	9~11kv	1.60ms



リーズナブルで高品質なPAC Device & Championならさらに収益率アップ！

1907年創業。伝統・信頼・タフネス。



イリジウムプラグ



純正品質

PACdevice
 ダイレクトイグニッションコイル



総輸入発売元 ワーズインク株式会社
 〒151-0064 東京都渋谷区上原1-1-17 2F
 TEL03-5738-0510 <http://was-inc.jp>